あさひの日だまり

令和６年　７月１９日（金）

NO.１４

辰野町立辰野東小学校　文責　片桐

～新しいピアノがやってきました～

４９歳のピアノとのお別れ

校長室の本棚に「辰野東 小学校５０年誌」が置かれています。ページをめくっていくと、「よみがえる 50 年」というページが出てきました。年表が記されていますので目で追っていきました。昭和 50 年（1975 年）というところで目がとまりました。そこには「新しいグランドピアノが寄贈され、披露音楽会が開かれる」とありました。それまでの古いグランドピアノの写真も掲載されていました。その当時から４９年が経過しました。現在１音で子どもたちの歌の伴奏をしているグランドピアノは４９歳ということがわかりました。私が小学生の時からずっと子どもたちのために音を奏でてくれていたのです。

しばらく前のことになります。音楽科の先生から「調律をしてもピアノの音がどうしてもずれてしまいます。子どもたちに本当の音を聞かせてあげたいです」「正しくない音のピアノ伴奏で歌わなくてはいけない子どもたちが可哀そうです」というお話をいただきました。そのとき丁度調律師の方がみえていましたので直接お話を伺いに行きました。「大切な部分がだいぶ古くなっておりまして、調律ではどうしようもないところまで来ています」ということでした。時間の経過は止めることができません。そしてどうやらピアノというものは使えば使うほど深みを増していくというわけにはいかないということがわかりました。「買い替え」という文字が頭に浮かびました。

とはいってもそう簡単に買い替えができるものではありません。ひとまず教育委員会へ状況の説明と買い替えのお願いをしてみようと思いました。その時はそうはいっても購入までには数年かかるだろうと思っていました。

「子どもたちのためなら何とかならないか検討してみます」というお返事が教育委員会から届いたのはそれからしばらくしてからでした。「えっ、本当ですか。もしそうなればそんなに嬉しいことはありません」とお返事しました。その後、辰野町の教育委員会様には本当にご尽力いただきました。子どもたちのためにお力を注いで下さる姿に本当に感謝の思いでした。そして、７月１８日（木）午後３時、新しいグランドピアノが分解された状態で第１音楽室に運び込まれたのです。

当日お休みをいただいていた私は翌朝一番に音楽室へ足を運びました。ピアノを包む布を外し、ふたを持ち上げてみました。新しい木の匂いが心地よく香ってきます。どこを見てもキズ一つない光輝く美しいピアノがそこにありました。

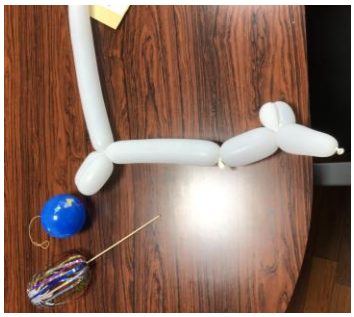
このピアノがこれから末永く本校の子どもたちの歌の伴奏をしてくれます。明るい歌や静かな歌、1 年生の元気な歌や卒業生の心に染み入る歌、すべての場面で伴奏をしてくれます。新しいピアノの素晴らしい音色を子どもたちには思う存分楽しんで欲しいと思います。

～学童の夏祭りがありました～

卒業生もスタッフとして活躍しました

例年行われている学童の夏祭りが１７日（水）の３：３０から行われました。前々から「ぜひ来てよね！」とたくさんの先生方が子どもたちから声をかけてもらっていたので、この日は職員会だったのですが、開始を３０分遅らせ

てみんなで夏祭りに参加させてもらいました。受付をすませて色々な出店を回りました。どこのお店でも明るく大きな声でゲームの説明をしてくれました。卒業した中学生が数名スタッフとしてお手伝いに来てくれていました。こうして来てくれている背景には学童での楽しかった思い出があるのでしょう。そしてその思い出は一生心の中から消えることはないはずです。そんな思い出作りを支えて下さっている学童の支援員の皆様には心から感謝したいです。



ちなみにこの日のお祭りでは私は輪投げは１回も入らずでした。お菓子釣りは欲しいお菓子を吊り上げることができました。ようよう釣りはぐずぐずしているうちに釣り糸が切れて残念な結果でしたが「校長先生、どれを取ろうとしていたの？」と担当の子がきいてくれたので「この青いのが欲しかったんだよ」と答えたら「ハイどうぞ！」といってプレゼントしてくれました。嬉しくなってそのあとずっとようようをつきながらお店を回りました。

写真はお祭りでもらったものです。大型の風船は担当の方に教えていただきながら自作しました。足の部分の長さが不ぞろいだったりもう空気が抜けてきたりしていますが、自分で作ったものなので空気が抜けきるまで大切にしようと思います。校長室の片隅においてあるので時たま目に留まり、夏が来たな～と実感しています。学童の支援員の皆さん児童の皆さん、楽しい時間をありがとうございました。

～３・４年生が新聞作りに挑戦しました～

信毎から指導者の方をお招きして

夏休みの課題は選択式になっています。その中に手作り新聞があります。新聞作りを選ぶ子どもたちがどのくらいいるかはわかりませんが、それに合わせて信毎の方が新聞作りのノウハウを指導してくれるという企画がありました。学校で申し込むと指導者の方が来校して下さるという取り組みで、本校では３・４年生の担任の先生が手を挙げて申し込みをしました。子どもたちにとって新聞の存在は決して身近なものではありません。子どもの中には新聞を開いたことのない子もいるかもしれません。この機会に新聞との距離を縮めてくれたらこれは貴重な経験となります。

教室をのぞかせてもらいました。新聞の紙面の構造の説明や記事を作るまでの構想などを丁寧に教えていただいていました。子どもたちは自分の中の今一番の話題を記事にするための準備をしていました。飼っている猫のこと。水泳で技を身につけたこと等、記事になったら是非読んでみたいと思うことを見出しとして選んでいました。

～水泳参観へのご来校ありがとうございます～

暑い中感謝申し上げます

今週は水泳参観週間でした。初日は雨模様でプールが使用できませんでしたので参観を中止させていただきましたが翌日からは天候が回復したためプール参観を行いました。初日に来校を計画して下さっていたご家庭にはお詫び申し上げます。申し訳ございませんでした。

翌日からは好天に恵まれたくさんのご家族の皆様にご来校いただきました。プールには日影がないものですから、体育館が作る陰に入っていただきながら参観していただく方が多かったです。ご不便をおかけしてしましました。

朝昇降口で「今日家のお母さん見に来るってよ！」と嬉しそうにお話ししてくれる子が何人かいました。「子どもが見に来てっていうのですが何時に行けばよいでしょうか」とお電話を下さったお宅もありました。子どもはご家族が見に来てくれると大切にされている自分を感じて嬉しいものです。ご来校に心より感謝いたします。